

## ■ 不幸現象について

### 【病気とは】

- 5 ・ 罹<sup>かか</sup>る方の行動や言葉が『真理』に反しているから、霊障<sup>れいしょう</sup>を受けて「病気」になるのです。霊体<sup>れいたい</sup>と幽体<sup>ゆうたい</sup>が傷んでいる状態では、肉体だけ救おうとしても治りません。
- ・ 特に癌<sup>がん</sup>など、大病<sup>たいびょう</sup>を患<sup>わずら</sup>う方の共通点は、頑固<sup>がんこ</sup>で感謝<sup>かんしゃ</sup>をしない人が多い傾向にあります。また、転移癌<sup>てんいがん</sup>は、何も関係<sup>かんけい</sup>の無い“烏合<sup>うごう</sup>の衆<sup>しゅう</sup>”によって作られています。
- 10 そのため、放<sup>はな</sup>っておくと加速度的<sup>かすうてき</sup>に悪化<sup>あくわ</sup>します。  
※但し、『真理=神理』に基づいたお諭<sup>ごんご</sup>しなどの霊的<sup>れいてき</sup>な治療<sup>ちりょう</sup>を行うと、すぐに変化<sup>へんか</sup>が出て、数日<sup>すうじつ</sup>で消えてしまいます。  
\* “烏合”とは・・・からすの集まりのように秩序<sup>ていじつ</sup>も統一<sup>とういつ</sup>もなく集まること  
\* “烏合の衆”とは・・・秩序<sup>ていじつ</sup>も統一<sup>とういつ</sup>もなく集まった人々
- 15 ・ 『神』が大きく使おうと予定<sup>よんてい</sup>している方の中には、クリーニング現象<sup>けいりんぎんげん</sup>《45P》として病気に罹<sup>かか</sup>ることもあります。

### 20 【憑霊現象】

- ・ 特別<sup>とくべつ</sup>に恨み<sup>うらみ</sup>の心<sup>こころ</sup>が無い霊<sup>れい</sup>が身体<sup>からだ</sup>に憑<sup>つ</sup>く時には、鶏卵<sup>けいらん</sup>より一回<sup>いちかい</sup>り大きな球体<sup>きゅうたい</sup>となって、身体<sup>からだ</sup>に半分<sup>はんぶん</sup>埋<sup>う</sup>まっている状態<sup>じょうたい</sup>で肩<sup>かた</sup>や背中<sup>せなか</sup>に憑依<sup>ひょうい</sup>します。
- 25 ・ 恨み<sup>うらみ</sup>を持って障<sup>さや</sup>っている霊<sup>れい</sup>は、身体<sup>からだ</sup>の中に深く入り込んで、内臓<sup>ないざう</sup>に癌<sup>がん</sup>を作<sup>つく</sup>ったりします。

### 霊<sup>れい</sup>が人<sup>ひと</sup>に対して憑依<sup>ひょうい</sup>する理由は・・・

- 30 ① 因縁<sup>いんねん</sup>、恨み<sup>うら</sup>による場合<sup>ばいあひ</sup>。
- ② “この人なら理解<sup>りかい</sup>して貰<sup>もら</sup>える”と、頼<sup>たの</sup>ってくる場合<sup>ばいあひ</sup>。  
※対処法<sup>たいじゆほう</sup>《88、89P》にて解説<sup>かいせつ</sup>
- 35 ③ 特に因縁<sup>いんねん</sup>は無くても、面白半分<sup>おもしろはんぶん</sup>で障<sup>さや</sup>ってくる場合<sup>ばいあひ</sup>。
- ④ 憑霊<sup>ひょうれい</sup>と波調<sup>なみしらべ</sup>が合う場合<sup>ばいあひ</sup>。  
⇒ 主に悪想念<sup>あくそうねん</sup>や攻撃<sup>こうげき</sup>的な心<sup>こころ</sup>の持ち方<sup>もちかた</sup>によるものが原因<sup>げんいん</sup>です。(類<sup>るい</sup>は友<sup>とも</sup>を呼<sup>よ</sup>ぶ)

40 悪想念<sup>あくそうねん</sup>を出<sup>だ</sup>したり、立ち居振<sup>たちいふる</sup>舞<sup>ま</sup>いが下品<sup>げひん</sup>だったりすると、悪意<sup>あくい</sup>を持った霊<sup>れい</sup>に憑依<sup>ひょうい</sup>されるので注意<sup>ちゅうい</sup>しましょう。  
常に感謝<sup>かんしゃ</sup>して、言葉遣<sup>ことばづかい</sup>いや立ち居振<sup>たちいふる</sup>舞<sup>ま</sup>いは、丁寧<sup>ていねい</sup>で上品<sup>じょうひん</sup>になるように心掛<sup>こころが</sup>けましょう。